

## KS ICT EDUCATION POLICY (慶進中学校・高等学校 ICT 教育の方針)

- 1 世界で活躍するための ICT 教育
- 2 主体的に学ぶための ICT 教育
- 3 相互理解のための ICT 教育

### ■ 慶進中学校・高等学校の ICT 教育理念

慶進中学校・高等学校では、「独立自尊」「至誠一貫」「敬愛感謝」を校訓とし、「志」「学力」「人間力」を高める教育活動に取り組んでいます。大きく変化する 21 世紀を迎え、幕末期の松下村塾のように生徒の無限の可能性を開花させ、「世界で活躍する有為な人材」を育成することが、自らの使命と考えています。この使命を果たすために、本校では以下の「KS ICT EDUCATION POLICY (慶進中学校・高等学校 ICT 教育の方針)」に基づいて ICT 教育を推進します。生徒一人ひとりが、教育改革の大きな変化に対応して学力を身につけ、希望大学に合格し、新たな社会「Society 5.0」で活躍するためのスキルとモラルを養います。そして、養ったスキルやモラルと、本校のカリキュラムとを有機的に結合させて、「世界で活躍する有為な人材」の育成につないでいきます。

### ■ 1 世界で活躍するための ICT 教育

希望大学進学は、ひとつの通過点であり、ゴールではありません。本校では、社会に出てから有用なスキルを身につけるためにツールやアプリを使用します。それを通して、学力の向上をはじめ、データの収集や分析の能力、情報リテラシーを高めます。そして、日本の大学だけではなく、海外の大学への進学や企業で活躍することができるように、ICT 教育を推進します。

### ■ 2 主体的に学ぶための ICT 教育

今、世界で求められている力は大きく変化しています。それは高度経済成長期の人口増加の社会に求められている力とは異なり、臨機応変に物事に対応し、一人ひとりが自己の能力を生かして活躍することのできる力です。その力は従来の指標であった学力の偏差値だけでは測ることができません。

それゆえに、教師に教わるだけでなく、生徒一人ひとりが自らの知的好奇心・関心を深め、知識を吸収して、考察し、ともに学ぶことが重要となります。そして、校内から校外へも目を向け、積極的に学ぶ姿勢も必要とされます。そのような主体的な学習者に必要なスキルを身につけるための ICT 教育を推進します。

### ■ 3 相互理解のための ICT 教育

社会のあり方が変化し、価値観が多様化する中で、様々な場面で、自分を表現し、相手を理解する能力が、ますます求められます。そこで、積極的なコミュニケーションツールとして ICT を活用し、生徒一人ひとりの精神的な成長をサポートします。

また、保護者との連絡・情報提供にも ICT を活用し、学校と家庭が連携して子どもたちの成長を見守る体制を構築します。

---

■ 付記

- (1) 本「KS ICT EDUCATION POLICY」(1枚目、以下「本POLICY」)を仮入学や学校案内など学外への説明として使用する
- (2) アドバンスコース・グローバルコース・中高一貫コース・中学校を対象とした包括的な方針とする
- (3) 「KSG2020」は教職員の目標として外部に公表せず、「本POLICY」を外部への公表資料とする
- (4) 「本POLICY」は「KSG2020」に基づいて作成しており、両者は密接に関連する
- (5) 「本POLICY」は年度末に総括し、必要な場合は改訂をおこなう
- (6) カリキュラムマネジメントの決定後、その内容を「本POLICY」に反映させる